

保健師

市川保健所（健康福祉センター）



# 佐竹 菜津美

Satake Natsumi

令和2年度  
採用



## 異動経歴

R2年採用 市川保健所（健康福祉センター）

## Q1 あなたが採用された職種の魅力について教えてください。

県の保健師は広域的な業務が多いため、色々な業務や職種の方と関わることができます。配属先も本庁、保健所、精神保健福祉センター、児童相談所など、多岐にわたります。千葉県は地域によって、人口の動向や主産業が違うこともあり、異動によって様々な地域や業務を経験することで、保健師としての視点や価値観が広がると思います。

## Q2 仕事の内容とやりがいを感じる瞬間について教えてください。

結核に関する業務に携わっています。主な業務内容は、結核患者さんの服薬支援を行い、治療が適切に続けられるようにサポートします。また、患者さんへの聞き取り調査、周囲の方への接触者健診を行い、まん延防止のための支援を行います。

患者さんが少しずつ回復していく様子を見た時や、「保健師さんと話せて安心した」「助かった」と言われた時にやりがいを感じます。

## Q3 千葉県を選んだ理由を教えてください。

私自身、大学卒業まで千葉県で生まれ育ちました。前職の看護師だった時は県外で働いていましたが、県外から初めて見た千葉県は、都市部と豊かな自然が程よく混在していて、とても魅力的に見えました。魅力あふれる地元で、県内の様々な地域で保健師として働いてみたいと思い、千葉県を志望しました。

## Q4 職場の雰囲気について教えてください。

保健師の採用が増えたこともあり、同年代の職員が比較的多いです。毎週金曜の昼ご飯は、課内の希望者で同じ出前を取って楽しんでいます。

業務では、報連相が非常にやりやすいです。新卒の方もいれば、様々なキャリアを持った方や、頼れる先輩保健師もいるので、困ったことがあっても各々の知識や経験を共有しながら、チームで解決しようとしています。

## Q5 仕事をする上で心掛けていることを教えてください。

患者さんと直接接する業務なので、一人一人に合わせた患者像の理解を心がけています。患者さんが話す言葉だけでなく、声のトーンや仕草、普段の生活環境なども把握しながら、一人一人に合った治療支援をしたいと思っています。コロナ禍で、対面での業務が難しかった時に、上記のことを強く感じました。

## Q6 仕事の中で難しく感じていることや苦勞したこと、大変だったことを教えてください。

正しい知識を、正しく理解してもらうことが難しく感じる時がありました。

結核を含む感染症は、今まで病気と無縁だった方が突然診断されることがあります。事前知識がほとんどない方や、少し事実と違う理解をされている方に対して、分かりやすく、かつ不足なく、正しい知識をお伝えすることは、保健指導で1番大切なポイントです。自分自身の知識のアップデートも必要なため、日々勉強が必要だと思っています。

## Q7 あなたの考える千葉県の魅力を教えてください。

首都圏の1つとしての都市の側面と、海や緑があふれる自然豊かな側面の両方が、バランスよくあるところだと思います。

## Q8 休日や退庁後の余暇の過ごし方について教えてください。

1歳のこどもがいるので、育児と家事に奔走しています。平日は保育園のお迎えから寝かしつけまでと、その他家事全般を夫と協力して分担してはいますが、一瞬で時間が過ぎてしまいます。休日は家族で出かけたり、双方の実家にゆっくり泊まったりしています。

## Q9 今後の目標や挑戦してみたいことなどを教えてください。

県内の様々な地域で、多様な分野の業務に従事し、保健師としての視点や価値観を広げていきたいです。

## Q10 受験者へのメッセージをお願いします。

私も未熟ですが、1つ感じるのは、様々な仕事にチャレンジする機会があるということです。地域の方々の暮らしの様々な場面に幅広く関わりたい方と、一緒に働きたいです。

### MY SCHEDULE

09:00  
出勤・メールチェック・  
課内ミーティング

09:30  
窓口及び電話相談

10:30  
担当患者についての  
検討会議

12:00  
昼食

13:00  
家庭訪問

15:00  
帰庁・記録・  
担当業務の事務処理

15:45  
退庁

17:00  
こどものお迎え、帰宅  
※育児休暇（120分）を取得

